

本学教育学研究科を修了した赤松諒一さんが 日本陸上競技選手権大会で初優勝

【概要】

6月1日（木）～4日（日）にかけて大阪で行われた「第107回 日本陸上競技選手権大会」において、2020年に本学教育学研究科を修了した赤松諒一さんが男子走高跳に出場し、自己新記録を更新する2m29cmを跳び、同大会で初優勝を果たしました。

6月9日（金）には、赤松さんと専任コーチである陸上競技部顧問の林陵平助教が学長室を訪問し、優勝報告を行いました。赤松さんは「練習の成果が出て自己新記録で初優勝をすることができて自信につながった。来年のパリ五輪出場を目標に夏の国際大会でも新記録を狙いたい」と話しました。吉田学長からは、「自己新記録と初優勝おめでとうございます。パリ五輪出場に向けて引き続きコーチの林先生と共に頑張ってください」と激励しました。



優勝報告の様子



記念写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/6/5	岐阜	男子走り高跳び 赤松（岐阜大院出）初優勝 「世界で戦える選手に」 ～ 赤松諒一さん（岐阜大卒業生）～
2023/6/12	中日	赤松選手「初優勝自信に」 日本選手権走り高跳び 岐阜大で喜び ～ 医学系研究科研究生 赤松諒一さん、教育学部 林 陵平 助教、吉田和弘 学長 ～
2023/6/14	岐阜	赤松「世界選手権参加標準を狙う」 赤松や河村らがアジア選手権へ 代表発表 ～ 赤松諒一さん（教育学研究科修了）～